

価値デザイン実践委員会事業計画

価値デザイン実践委員会 委員長 仁平 伸幸

少子高齢化社会での人口減少による国内需要の減少と、それに伴う産業の衰退が加速していく中、国際競争力が低下しモノやサービスがありふれた現代において、求められたものを供給するだけではなく、諸外国との競争に勝ち抜くために、持続可能な価値デザイン社会への発展が必要です。県東地域の課題や問題を行政や企業、あらゆる団体がパートナーシップを組み融合させて、SDGsの達成とともに新たな価値を生み出すことが必要です。

まずは、1市4町それぞれが置かれている課題や問題を再認識するために、有識者による講演及び勉強会を開催し、メンバーの地域課題に対する視野を広げ、地域課題の共有と解決の糸口を見出します。そして、栃木県が運営する「デジタルハブ」の活用を促進させるために、行政や企業、様々な団体を集めた勉強会を開催し、持続的に地域課題の顕在化および課題解決を行うスキームを確立させます。さらに、県東地域において持続的な地域の課題解決をするために、1市4町に分かれメンバーが中心となり、様々なパートナーシップの橋渡しをすることで、LOMメンバーに新たな価値の創出の意識を根付かせます。また、県東地域において新たな価値を創出し続けるために、各行政や企業、あらゆる団体を招いて検証結果の発表会を行い、1市4町において課題の発掘から解決までのモデルケースを発信することで、県東地域を持続可能な地域へ発展させます。そして、どんな時代においても新たな価値を創出し続けるために、LOMメンバー全員で地域の課題解決を学び実践することで、県東地域のために熱く深く考えられる人財のあふれるLOMを形成します。

新たな発想の転換ができるスキルを身に付けLOMや行政、企業、あらゆる団体が「融合」し、その先に「脱・平均」へとつなげ、世界的な「共感」を得ることができる3つの柱が一つとなった価値デザイン社会を発信する県東地域を実現します。もっと熱くなれ。

<事業計画>

1. 地域の価値を時代に合わせてデザインする事業
2. 地域の価値を発信する事業
3. 事業で魅せる発信及び会員拡大
4. 全員で動く実働的な会員拡大
5. 日本青年会議所、関東地区協議会、栃木ブロックへの参加及び協力